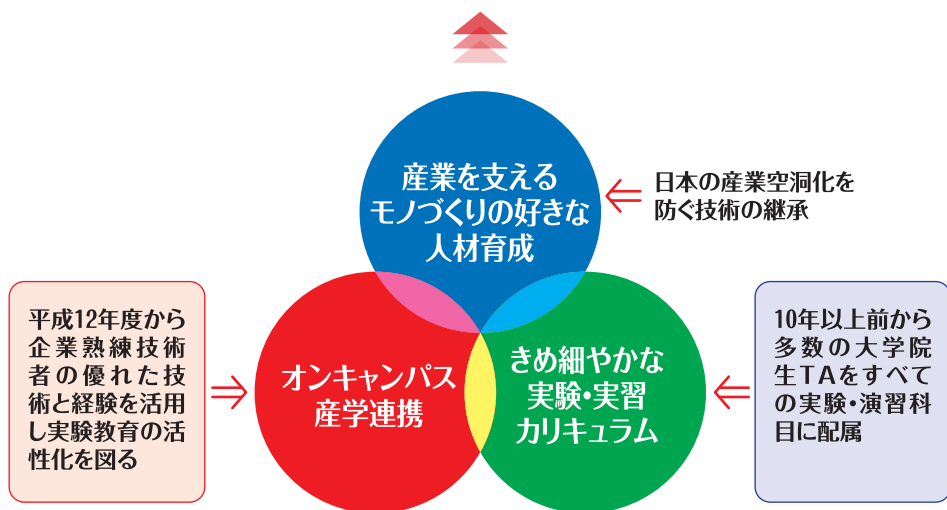


モノづくりの好きな人材育成への長年の取り組みが 「特色GP」選定に実を結びました。

平成19年度 特色GP選定



中学・高校までの実体験教育の貧弱さは、大学教育を進める上でも大変深刻です。一方、産業の根幹をなす製造企業の国外脱出と団塊世代の大量退職により、国の成長を支えてきた各種**技術の継承**は、緊急かつ戦略課題となっています。

この中で大阪電気通信大学は、「科学技術創造立国の本道は、短期のベンチャー立ち上げなどではなく、技術教育の刷新と系統的な次世代養成にある」と一貫して考えてきました。この認識に基づいて、平成12年以降、実験実習に多数の**企業熟練技術者**を雇用し、モノづくり精神の体現者を教育現場で活用するという**オンキャンパス産学連携**を実施してきました。これが今回「特色GP」に選定された教育実績です。

大企業退職の熟練技術者（60歳前後・現在17名）は、自らの技術に誇りを持つとともに、わが子と同世代の学生達の指導に大変熱心です。

また学生達も、担当教員とは違った新鮮さで対応するという相乗効果も見られ、モノづくりの楽しさと技術者への尊敬を醸成する上で大変効果的であることが実証されています。企業現場での技術経験を活用したユニークな**モノづくり実験教育**は、教育方法の工夫改善だけでなく、**ロボットコンテスト**など正課以外の学生支援にも大きな力を発揮しています。

